

キンダーブック2 10月号



表紙の
絵から

今夜は音楽会。リハーサルをするこおろぎさんたちは緊張しているようです。そんなみんなを応援するように、りすさんたちはステージの飾りつけやお客さんの案内のお手伝いをしています。どんなステージになったか想像してみても楽しそうですね。

あきさがしさんぽ

生活コーナーのスペシャル企画です。秋の風物詩にふれ、秋を感じる散歩を楽しみましょう。



なかよくみのみんなどいっしょにお散歩に出かけたつもりで、読み進めましょう。実際に園外に出かけ、子どもたちに秋の自然を感じてもらってから読んでみましょう。

秋の虫を観察してみましょう。鳴き声に特徴がある虫が多いのが楽しいですね。鳴き声当てクイズをしたり、からだのどの部分を鳴らしているのかを知ったりすると興味が広がります。



実際に見つけた落ち葉やどんぐりなどをじっくり触って、秋を感じるのもよいですね。シールコーナーのように飾りを作ったり、絵を描いたりするなど、制作につなげてみましょう。



さつまいもがとれたよ



ねらい 秋の味覚を感じましょう。

つかい方のポイント 実際にさつまいもを用意して、重さや硬さ、においなどを感じられるとよいですね。芋掘り行事のある園では、根がふくらんで大きくなっていることを観察してみましょう。調理して食べられるとさらに興味をもてそうです。

どうぶつ うんどうかい



ねらい それぞれのよさを認め合ひましょう。

つかい方のポイント 「運動が苦手なかめくんはどんな気持ちかな？」と想像しながら読み進められるとよいですね。勝ち負けの結果だけでなく、その過程もたいせつにするということを伝えましょう。それぞれの楽しみ方があることを認め合えるとよいですね。

「キンダーブック2」を保育にご活用ください！

絵本をつかった指導計画の文例



カレンダーがついた行事コーナーの誌面がダウンロードできます！

<https://kinderbook.froebel-kan.co.jp/DL/kb2/>



コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
<p>あきさがしさんぽ</p> <p>かんさつ せいりつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 秋を五感で感じる。 ● 秋にふれることで新しい発見をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 戸外に出かけ、五感をつかって、におい、手触り、音などから秋を感じられるよう保育者が積極的に促す。 ● 先回りせずに子どもたちの気づきを待ち、見守るようにする。 ● 持ち帰った自然物を飾ったり、制作したりできるように廃材などを用意しておく。 	<p>環境</p> <p>表現</p> <p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然との関わり・生命尊重 ● 思考力の芽生え ● 言葉による伝え合い ● 豊かな感性と表現
<p>どうぶつ うんどうかい</p> <p>おはなし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● みんなそれぞれに個性があることを知る。 ● みんなで力を合わせるたいせつさを知る。 ● 運動会をとおして達成感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● みんな違うということを日々の保育のなかで伝え、認め合える関係性を作る。 ● みんなが楽しく運動会の競技に参加できるよう声をかける。 ● 勝ち、負けだけではなく取り組む過程がたいせつだということを伝える。 	<p>人間関係</p> <p>言葉</p> <p>表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉による伝え合い ● 協同性 ● 思考力の芽生え